

製品名: Elmo1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10412**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	ELMO1
別名	ELMO1; KIAA0281; Engulfment and cell motility protein 1; Protein ced-12 homolog
遺伝子 ID	9844.0
SwissProt ID	Q92556
免疫原	抗血清はヒト Elmo1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 22-71

背景

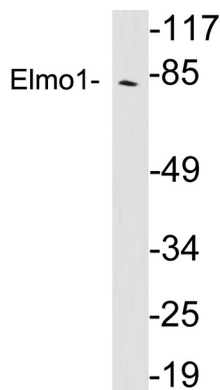
この遺伝子は、貪食および細胞運動タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。これらのタンパク質は、細胞質分裂促進タンパク質と相互作用して貪食および細胞遊走を促進します。この遺伝子および細胞質分裂促進タンパク質 1 の発現増加は神経膠腫

細胞の浸潤を促進する可能性があり、この遺伝子の一塩基多型は糖尿病性腎症と関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 8 月]、機能: アポトーシス細胞の貪食および細胞運動に必要な細胞骨格の再編成に関与する。DOCK1 および CRK と共役して作用する。当初は、DOCK1 との複合体形成により Rac Rho 低分子 GTPase の活性化に必要であると提唱されていました。DOCK1 のグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) 活性を増強する可能性があります。PTM: HCK によってリン酸化されます。類似性: 1 つの ELMO ドメインを含みます。類似性: 1 つの PH ドメインを含みます。細胞内局在: DOCK1 と CRK を介して細胞膜への移行が誘導されると考えられます。サブユニット: BAI1 と相互作用します (類似性による)。DOCK1 の SH3 ドメインと、その SH3 結合部位を介して直接相互作用します。DOCK1 および RAC1 との複合体の一部です。DOCK1 および CRK アイソフォーム CRK-II との複合体の一部です。PLEKHG6 と相互作用します。組織特異性: 広く発現しており、脾臓と胎盤で特に高い発現を示します。、

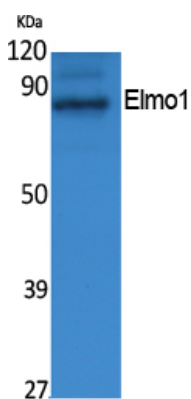
研究分野

ケモカイン;

画像データ



Elmo1 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



Elmo1 ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。